

フォスタリングチェンジ・プログラム10周年イベント

FCP報告会と交流会 & FCPとRFPのこれまでとこれから

シンポジウム

~みんなで考える里親養育の未来~

9月15日（火）開催

場所：東京都新宿区戸塚町1-104 早稲田大学
早稲田キャンパス7号館2階 205号室

時間：14:00~18:00

FCP：フォスタリングチェンジ・プログラム

RFP：リフレクティブ・フォスタリング・プログラム



<ねらい>

日本に英国のFCPが導入されて10年。関係性を重視し、アタッチメント理論と社会的学習理論に基づく実践的支援をするプログラムとして全国に広がり、里親の養育力向上と関係構築に大きく貢献してきました。

一方で子ども・里親を取り巻く環境の複雑化に伴い、子どもの心の内面やメンタライジング（心に心を寄せること）に着目するRFPへの期待も高まっています。本シンポジウムでは導入10周年を記念し、FCP開発者のキャシー氏、キャロライン氏、RFPの展開を牽引するニック氏を招聘。開発の経緯や展開を聴き、参加者の皆様とともに日本の里親養育の未来を考える機会としたいと思います。

■ 第1部（14:00~15:30）

FCP報告会と交流会

※こちらはフォローアップMTGの拡大版です。年一回のフォローアップミーティングとしてカウントできます。

■ 第2部（16:00~18:00）

FCPとRFPのこれまでとこれから

シンポジウム~みんなで考える里親養育の未来~

参加形式

会場参加（早稲田大学）

もしくはオンラインzoom参加

特典

会場参加者のみオリジナル缶バッジ
プレゼント

第2部登壇者

キャシー&キャロライン
ニック先生(RFP共同開発者)



参加費

5,000円

1部のみ、2部のみ参加可能

※参加費は一律5,000円

※事前振込 / お申込み後自動返
信メールにて詳細が届きます。

定員

120名

(先着順・定員になり次第締切)

対象者

FCPファシリテーターおよび里親支援関係者

お申込みはこちら



主催 一般社団法人 無憂樹・共催 早稲田大学 社会的養育研究所

お問合せはメールにて：fcp@muyuju.org

HPはこちら⇒ <https://muyoujyu.com/>

スケジュールについて (大まかな流れ)

第1部

13:30 受付開始
14:00 開式
14:05 講演 ①上鹿渡先生
「FCP導入の経緯と日本での展開」
14:25 ②松崎先生
「FCPの日本における実践と今後の課題」
14:45 FCP実践報告
15:00 交流会

第2部

15:30 受付開始
16:00 挨拶
16:05 「FCPとRFPのこれまでとこれから」
シンポジウム
FCPについて（キャシー
& キャロライン）
RFPについて（ニック先生）
上鹿渡先生からのコメント
ディスカッション&質疑
18:00 終了

食べ物の持ち込みはご遠慮ください。

お飲み物をご持参いただけます。
ペットボトルやタンブラー
(キャップ、蓋付きのものに限る)

みんなで集まって
楽しく
盛り上がりましょう！



ニック・ミッジリー氏
(Prof. Nick Midgley)

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL)
子ども・若者の心理療法学教授

UCLとAnna Freudの共同研究組織「子どもの愛着と心理療法研究ユニット」部門長。子どもと家族を対象とするメンタライゼーションに基づく心理療法の開発・研究を牽引し、Sheila Redfern博士らAnna Freudの専門家と「リフレクティブ・フォスタリング・プログラム (RFP)」の開発・効果検証に携わってきた。『子どものためのメンタライゼーションに基づく治療—時間限定的アプローチ』(米国心理学会)の共著者であり、英国で実施された里親向け養育支援プログラム研究として最大規模のランダム化比較試験「Reflective Fostering Study」の研究代表者を務めた。現在は、早稲田大学の研究チームとともに、RFPの日本の文化や実践への適応に取り組んでいる。



RFP

リフレクティブ・フォスタリング・プログラムとは

リフレクティブ・フォスタリング・プログラム (RFP) は、子どもと家族のメンタルヘルスを専門とする英国の慈善団体「アンナ・フロイト」の専門家チームによって、2016年から開発が進められてきた、里親および親族里親を対象とする専門的なグループ支援プログラムです。本プログラムの大きな特徴は、心理学的概念である「メンタライジング」を中核に据えている点にあります。虐待やネグレクトを含む複雑なトラウマを経験した子どもは、ときに、強い拒絶や攻撃性など、養育者にとって理解したり対応したりすることが難しい行動を通して、苦痛やつらさを表すことがあります。メンタライジングとは、目に見える行動だけにとらわれず、その「向こう側」に目を向け、自分や他者の行動の背景にある感情、願い、意図、ニーズなどの心の状態を想像し、理解しようとする力を指します。RFPでは、里親が、子どもの行動の背景にどのような考えや感情があるのかについて、好奇心をもって考えることを促します。同時に、「なぜ私は今、こんなにイライラしているのだろう」「なぜこのことが、これほど心配になるのだろう」と、一歩引いて自分自身の心の反応を振り返ることも大切にします。このように、子どもの心と自分自身の心の双方に目を向けることによって、里親と子どもの間に生じる感情的な衝突や、関係の悪循環を防ぐことを目指します。

お問合せはメールにて：fcp@muyuju.org

フォスタリングチェンジ・ジャパンのHPはこちら

<https://fosteringchanges.jp/>

